

親子で一緒に学ぼう！ フオっち!の こどもSDGs

あまっている食品を フードドライブ しちゃおう！

貧困と飢餓の問題

世界の10人に1人が一日200円未満で暮らしているといわれています。(※1)
日本でも、相対的貧困(世帯の所得が、その国の等価可処分所得の中央値の半分に満たない状態)率は15.7%と7人に1人の割合で存在しています。(※2)



飢餓が起こる原因のひとつに貧困があります。収入がないために食料を手に入れられずに飢餓に陥ってしまうのです。

目標1:貧困をなくそうと目標2:飢餓をゼロには密接に関わりあっている内容なのです。



食品ロスの問題

貧困や飢餓が問題になる一方で、日本では食べられるものを食べずに廃棄する食品ロス(フードロス)が社会問題として取り上げられています。

その量は、日本国民一人当たりが毎日お茶碗約1杯分(約124g)を捨てている計算になります。(※2) お店などの廃棄だけではなく、家庭からの廃棄も多く、原因としては食べ残し・傷み・期限切れなどが挙げられます。



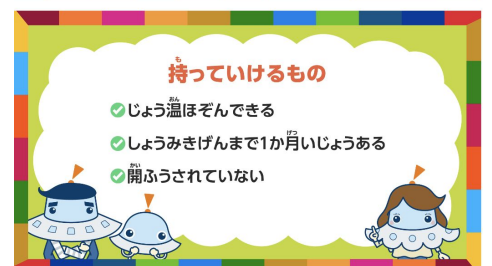
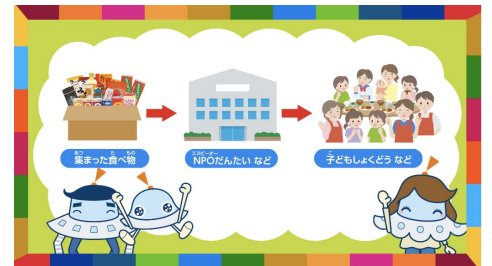
フードドライブとは？

先ほどの食品ロスの中には、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品もたくさんあります。フードドライブとはそのような家庭で余っている食品を集めて、それらを必要としている生活困窮者支援団体、子ども食堂、福祉施設等に寄付する活動のことです。

フードドライブできる食品はどんなもの？

常温保存ができる・賞味期限まで1か月以上ある・開封されていない 食品を寄付することができます。具体的には、米、缶詰、乾物(うどん・パスタ・蕎麦など)、インスタント食品(カップラーメン・レトルトカレーなど)、調味料、お菓子などが回収対象です。

該当の食品はスーパーやコンビニ、市役所に置いてある回収BOXに持って行くことができます。



私たちにできること

食品を買いすぎないで

「安いから」「次いつ買い物をするか分からないから」など、つい多めに食品を購入してしまったり、食べきれずに食品が余ってしまうことはありませんか？

買い物前に、家にある食品をチェックするなど、必要な時に必要な分だけ買うようにしましょう。



食べきれない食品はフードドライブへ

余っている食品はスーパーやコンビニ、市役所に置いてある

回収BOXに持って行くことができます。

主食になるもの(お米・パスタ・めん類・カップめん・クラッカーなど)や、おかずになるもの(惣菜のかんづめ・レトルト・びんづめ・甘口カレーなど)が喜ばれます。

みなさんもぜひ **フードドライブ** をやってみてください。



※回収BOXがある場所は自治体によって異なるため、事前にインターネット等で調べてから持って行くようにしましょう。

「ワオっち!のこどもSDGs」とは?

小学校低学年のお子さまから大人まで、親子で学べるSDGs学習コンテンツ

小学校低学年のお子さまから大人まで、親子で学べるSDGs動画です。Youtubeチャンネルなどで無料で配信しています。

知育アプリで大人気の「ワオっち!」家族たちの会話を通して、アニメで楽しく学ぶことができます。SDGsの理解だけでなく、身の回りの「**自分たちにできること**」や「**自分たちの手で地球を救う**」という意識を持ってほしい、という願いから「ワオっち!のこどもSDGs」は生まれました。

「ワオっち!のこどもSDGs」をきっかけに、**見る・知る・考える・話す・行動する**、など、親子でSDGsに向き合ってみてください。



＼ 動画はこちらからご覧いただけます! ／

その1

**あまっている食品を
 フードドライブしちゃおう!**



ワオっち!キッズサイト

ワオっち!

楽しく学べる知育アプリのキャラクター「ワオっち」のキッズサイト。

乳幼児～小学生まで使える知育アプリやショートアニメ、コンテストやぬりえ、かるたなどがお楽しみいただけます。



<https://waochi.com>

